

[別紙 1]

環境影響評価調査計画書の要約

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

1.1 環境影響評価の実施者（都市計画を定める者）

名称：東京都  
代表者：東京都知事 小池 百合子  
所在地：東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

1.2 事業予定者

名称：東京都  
代表者：東京都知事 小池 百合子  
所在地：東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

名称：首都高速道路株式会社  
代表者：代表取締役 前田 信弘  
所在地：東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 1 号

2. 対象事業の名称及び種類

名称：東京都市計画道路都市高速道路第 1 号線（新京橋連結路）建設事業  
種類：道路の改築

3. 対象事業の内容の概略

本事業は、首都高速道路日本橋区間の地下化に伴い必要となる大型車の環状方向の交通機能を確保するため、現在の八重洲線と都心環状線を地下で結ぶ新京橋連結路を設置する事業です。

項目	事業計画の概要
都市計画道路名	東京都市計画道路都市高速道路第 1 号線（連結路）
延長及び区間	延長：約 1.1 km 起点：東京都中央区新富二丁目 終点：東京都中央区八重洲二丁目
通過地域	東京都中央区、千代田区
車線数	往復 2 車線
道路幅員	片側 6.5m（標準）
設計速度	40 km/時
道路構造	トンネル構造、擁壁構造
主要交通との交差	J R 京葉線、東京メトロ銀座線、都営浅草線
供用開始	令和 17 年度（予定）
関連工事	出入口設置、擁壁更新等

注 1）主要交通との交差する交差形式は、6. 平面模式図及び縦断模式図、断面模式図を参照

#### 4. 環境影響評価の項目

下表において、○印を付けた項目について、調査、予測及び評価を行います。

環境影響要因と環境影響評価の項目との関連表

環境影響評価 の項目	区分 環境影響要因 予測する事項	工事の施行中			工事の完了後		
		施設の建設	建設機械の稼働	工事用車両の走行	施設の存在	自動車の走行	換気所の存在及び供用
大気汚染	建設機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気における濃度		○				
	工事用車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気における濃度			○			
	自動車の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気における濃度					○	
	換気所の供用に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気における濃度						○
騒音・振動	建設機械の稼働に伴う騒音・振動レベル		○				
	工事用車両の走行に伴う騒音・振動レベル			○			
	自動車の走行に伴う騒音・振動レベル					○	
	換気所の供用に伴う騒音・振動レベル及び低周波音圧レベル						○
地盤	施設の建設に伴う地盤の変形の範囲及び変形の程度、掘削工事等に伴う地下水の水位の変化の程度	○					
	施設の存在に伴う地盤の変形の範囲及び変形の程度、地下構造物の存在に伴う地下水の水位の変化の程度				○		
水循環	掘削工事等に伴う地下水の水位の変化の程度	○					
	地下構造物の存在等による地下水の水位の変化の程度				○		
景観	施設の存在及び換気所の存在に伴う主要な景観構成要素の改変の程度並びにその改変による地域景観の特性の変化の程度				○		○
	代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○		○
史跡・文化財	施設の建設に伴う対象事業の計画地内の文化財の現状変更の程度又は周辺地域の文化財の損傷等の程度、埋蔵文化財包蔵地の改変の程度	○					
自然との触れ合い活動の場	施設の建設に伴う自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度、及び自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度	○					
	施設の存在に伴う自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度、及び自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度				○		
廃棄物	施設の建設に伴い発生する建設発生土及び建設廃棄物の排出量、再利用・再資源化量及び処理・処分方法	○					

### 5. 位置図

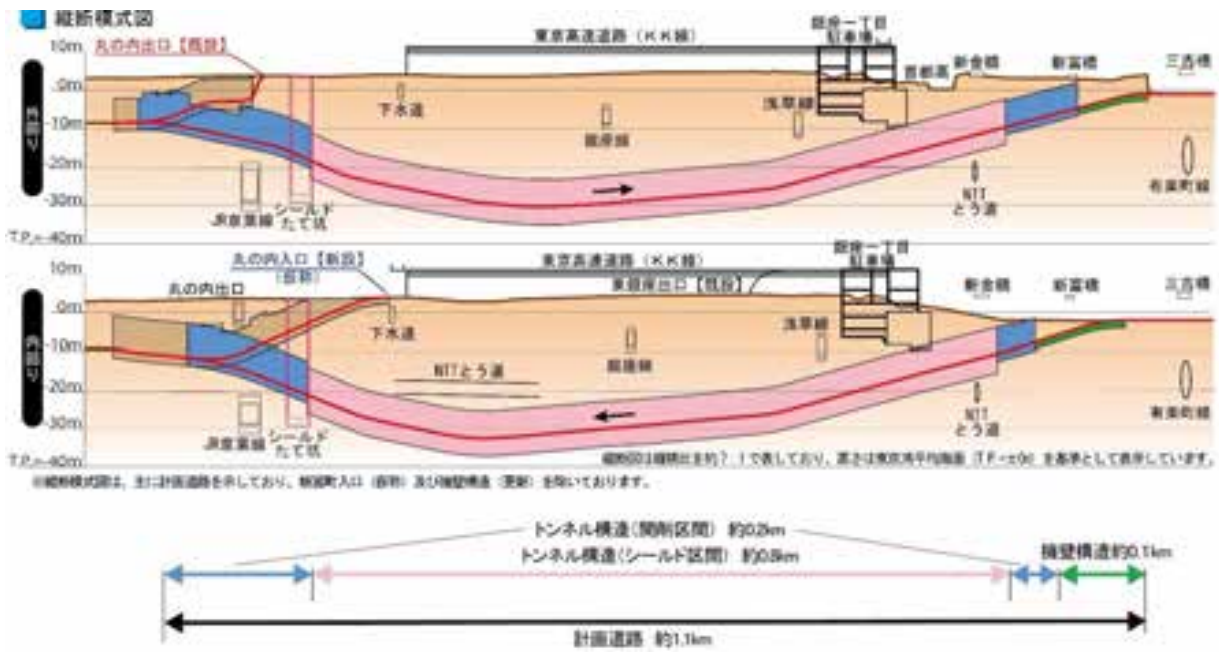


### 6. 平面模式図及び縦断模式図、断面模式図

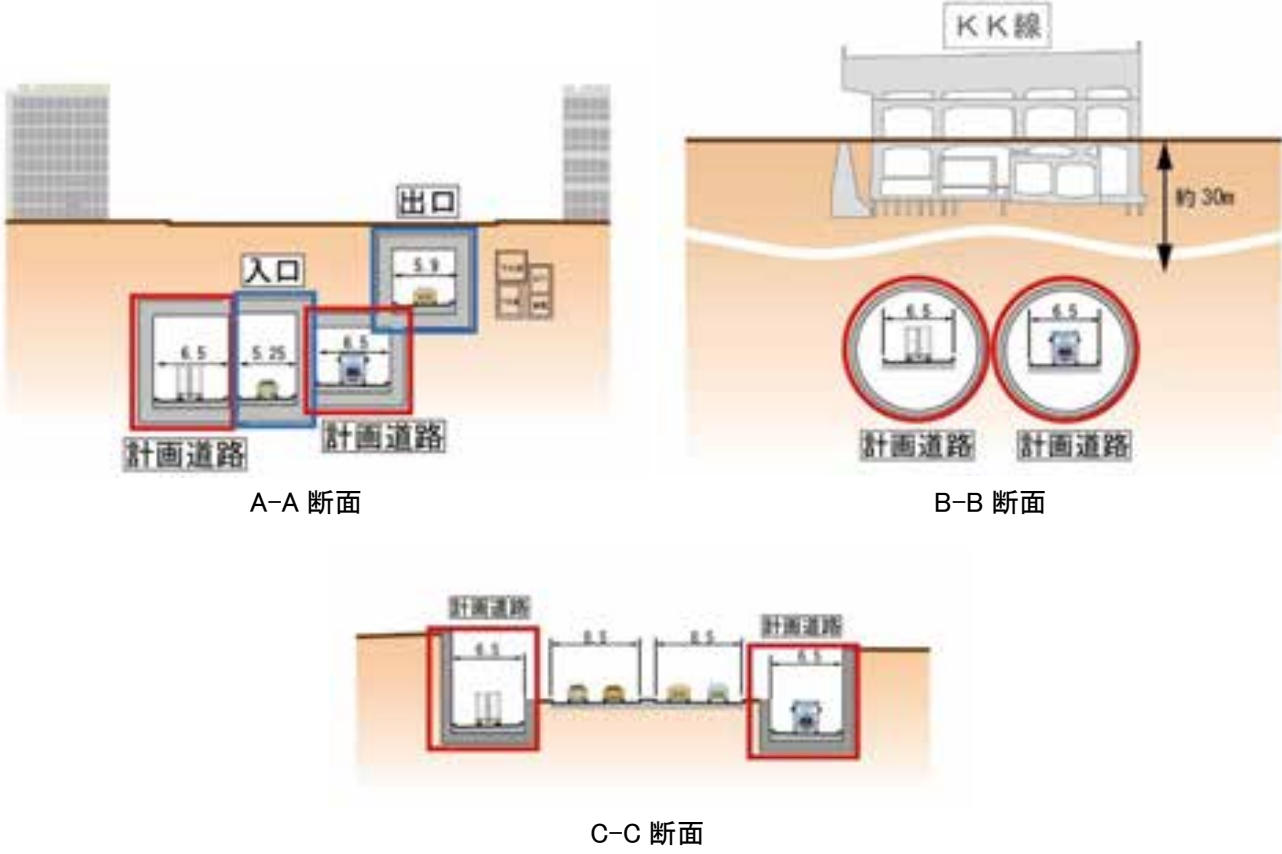
#### <平面模式図>



<縦断模式図>



<断面模式図>



※1 赤枠は、計画道路の位置、青枠は関連工事の位置を示します。  
 ※2 幅員構成等については、今後、関係機関との調整により、変更となる場合があります。